



試験開始前に注意事項などの説明を受ける
受験生＝岐阜市東鶉、岐阜保健大

岐阜保健大で 一般入試始まる

受験シーズンが本格化し、1日は岐阜市東鶉の岐阜保健大で一般入試が始まった。看護師や理学療法士、作業療法士などを目指す受験生が真剣な表情で試験に臨んだ。

同大は岐阜保健短期大看護学科を4年制に移行し、昨春に開学。看護学部看護学科、短期大学部リハビリテーション学科を設置している。模擬集中治療室など



創刊 明治14年

を備え、より実践的な演習に取り組める「シミュレーションセンター」のほか4分野の研究センターを併設するのが特徴で現在、1年生94人が学ぶ。

この日は本学、多治見市、名古屋市の3会場で両学科の試験が行われ、受験生は選択した教科の問題冊子が配られると緊張した面持ちで試験開始の合図を待っていた。

一般入試は2日も行い、8日に合格発表がある。

(佐名妙予)